



発信年月日：令和4年(2022年) 7月14日
所属名：湖北農産普及課
番号：G22008
部門分類：610(担い手育成)
発信者名：川村藤、兼房

湖北指導農業士会で情報交換会を開催

7月5日、湖北指導農業士会においてコロナ禍における営農活動や燃油・肥料高騰など農業経営への影響と新規就農者の育成をテーマに情報交換会を開催しました。

今回の情報交換会には11名の参加があり、これまで集合性のある事業や活動を自粛してきたため、久しぶりに顔を合わせる機会となり、多くの意見や感想が出ました。

コロナ禍では、従業員やその家族の感染予防のため、休業や社内での一層の対策に注意を払ったなどの声が寄せられ、繁忙期におけるBCP計画の必要性を強く感じました。また、米の需要減から在庫調整や安価販売、飼料用米への転換など経営判断を余儀なくされた事例もありました。

燃油・肥料高騰では、県が発行した土づくりマニュアルを基に堆肥や緑肥、土壌診断に基づく施肥などの事例を紹介しましたが、堆肥の確保がしにくく、地力やリン酸含有が低い地域では減肥が難しいこと、さらには肥料そのものが手に入らない等の問題も発生しており、肥料の代替対策が急務であることが改めて明らかとなってきました。

経営安定のためには麦や大豆、野菜等の高収益作物への転換や拡大を目指す意見も出され、前向きに取り組んで行こうとする姿勢がうかがわれました。

新規就農者の育成に関しては、園芸品目で就農されることが多いが、土地利用型経営においても後継者育成が重要であり、既存農業者の後継者確保だけでなく、のれん分けや集落営農組織での専業雇用などによる就農形態への対応を提言していただきました。

今後も当課では、指導農業士会の活動を通じて意見や情報交換を重ね、担い手の経営改善や育成・確保に結び付く活動を支援していきます。



情報交換会